

交流自治体の南相馬市を支援

東日本大震災から7年を迎えようとしています。被災地では、人口の流出や経済停滞など、震災前の活気を取り戻すまでには至っておらず、まだまだ支援の継続が必要な状況です。本日3月5日、区役所では交流自治体の福島県南相馬市の特産品の販売会を実施し、多くの買い物客でにぎわいました。

また、3月11日には、セシオン杉並（梅里1-22-32）で、式典「3.11を忘れない」を開催し、南相馬市への復興支援や首都直下地震への備えを訴えます。式典では、門馬和夫市長もビデオメッセージで、支援の継続を呼びかける予定です。

杉並区と南相馬市は、平成17年5月に「災害時相互支援協定」を締結。その後、発生した東日本大震災以降、この協定に基づき人的物的支援を行ってきました。今日3月5日、区役所1階のコミュかるショップでは、「南相馬市応援フェア」を開催。応援フェアでは、南相馬市小高商業高校の生徒が「南相馬の人たちの元気を取り戻したい！」と、地元の製菓店とともに商品化したかぼちゃの焼き菓子や地元の小学生と商品化した、おせんべい「バタしょっと」、南相馬で育てた藍の葉で染めたハンカチ・スカーフ・ストールなどの商品が並べられ、多くの買い物客でにぎわいました。この応援フェアは、16日まで開催されます。



また、3月11日には、式典「3.11を忘れない」を開催します。この式典は、東日本大震災の被災地の復興支援とともに、今後高い確率で発生するとされている首都直下地震への備えを区民に促すもので、平成24年3月11日から毎年開催しています。

今年の式典には、南相馬市で活動している小学生、中学生、高校生のマーチングバンド「Seeds+（シーズプラス）」が登場します。Seeds+は、震災前に全国大会の常連校だった原町第一小学校を中心に、「もう一度、マーチングをしたい」という強い思いから結成されました。大震災以降、県外避難で多くの仲間を失いながらも前向きに活動するSeeds+は、震災のわずか1年後に再び全国の舞台を踏みました。こうした足跡は、東日本大震災復興支援映画「MARCH」となり、ロンドンやニースの国際映画祭で、最優秀外国語ドキュメンタリー映画賞などを受賞しました。そのメンバーが、式典でマーチングを披露することになっています。さらに、門馬和夫市長のビデオメッセージで、これまで同様の支援と友好関係の継続を呼びかけることになっています。



3.11を忘れない

平成30年
3月11日(日)

セシオン杉並
(梅里1-22-32)

東日本大震災を契機として、被災地支援を目的とした活動を行う「Seeds+」のメンバーが、式典でマーチングを披露することになっています。

また、門馬和夫市長のビデオメッセージで、これまで同様の支援と友好関係の継続を呼びかけることになっています。

プログラム

- 10:30~11:00 開会式
- 11:00~11:30 市長のビデオメッセージ
- 11:30~12:00 Seeds+のマーチング
- 12:00~12:30 復興支援映画「MARCH」の上映
- 12:30~13:00 閉会式

申込不要 / 入場無料

主催：杉並区 問い合わせ：杉並区危機管理対策課 03-3312-2111(4)

式典「3.11を忘れない」

- 日時 平成30年3月11日(日)
12:30~14:50(展示は、11:00~16:00)
- 場所 セシオン杉並(梅里1-22-32)

【問い合わせ先】 危機管理対策課 03-3312-2111 内線 1580
区民生活部文化・交流課 03-3312-2111 内線 3781